

## (2) 年齢別に見たがんの罹患

年齢別にみると、40-64歳の年齢層が男女ともに全体の約3割を占めていた(図2)。

年齢階級別罹患数(部位別)を見ると、最も多い部位は、男性の15-39歳、40-64歳及び65-74歳では大腸、75歳以上では肺となっていた。女性は、15-39歳、40-64歳及び65-74歳では乳房、75歳以上では大腸となっていた(図3-1、図3-2)。

年齢階級別罹患率をみると、乳房と子宮以外のほとんどの部位で、年齢が高くなるほど増加傾向がみられた。男性は、女性に比べてほとんどの部位で罹患率が高く、加齢に伴う増加も急激であった。女性では、乳房については25-29歳から罹患が見られ、45-49歳、65-69歳にピークが見られた。子宮頸部(上皮内がん含む)では、20-24歳から罹患がみられ、25-29歳で急激に増加して35-39歳でピークに達していた(図5-1～図5-3)。

		14歳以下	15-39歳	40-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
沖縄県 2013	男	13 (0.3%)	77 (1.9%)	1,187 (29.5%)	1,109 (27.6%)	1,637 (40.7%)	4,023 (100.0%)
	女	13 (0.4%)	161 (4.8%)	1,226 (36.7%)	656 (19.6%)	1,284 (38.4%)	3,340 (100.0%)
全国 2013	男	950 (0.2%)	6,663 (1.3%)	116,324 (23.3%)	169,035 (33.9%)	205,748 (41.3%)	498,720 (100.0%)
	女	784 (0.2%)	13,596 (3.7%)	114,426 (31.5%)	87,219 (24.0%)	147,707 (40.6%)	363,732 (100.0%)

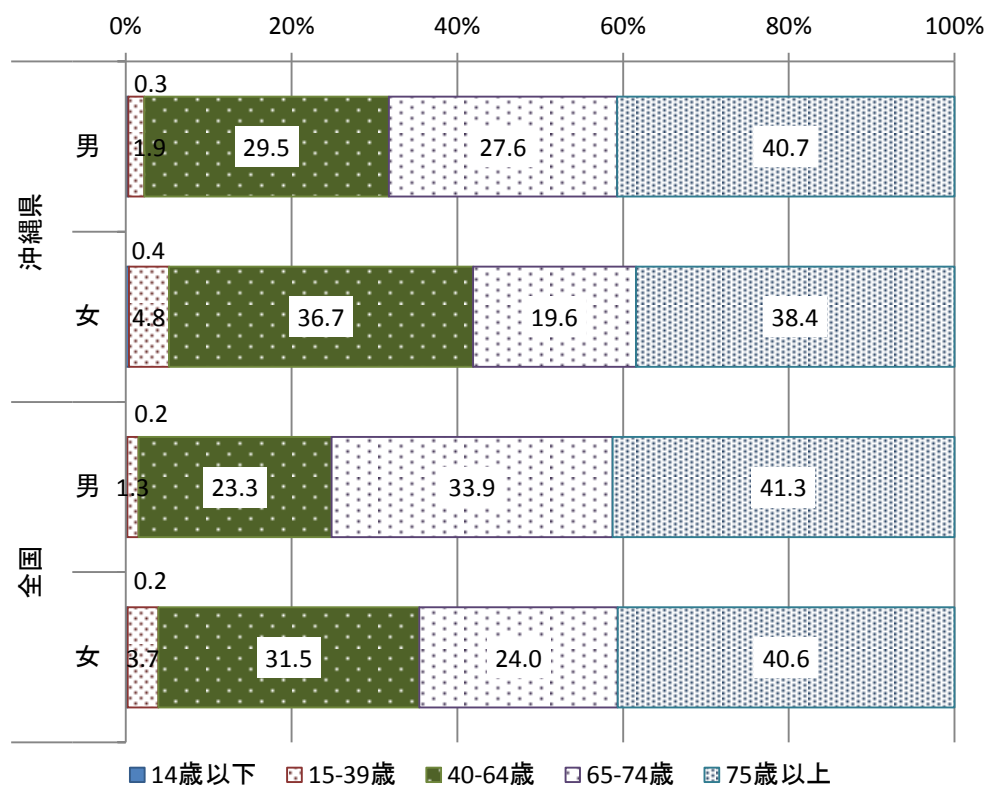


図2 年齢別割合(%)(表2Aから作成)

【更新】表、グラフにMCIJ2013による全国値を追加しました。